

出愛・ふれ愛・助け愛・学び愛

第4号



4葛尾村には素晴らしい愛がある



葛尾村教育委員会

“愛”を受け取った人は、“愛”を与える人になる



葛尾幼稚園のなかよし農園で

新しい土地へ引越越しをしてきて、地域のことが分からない方がいます。大人も子どもも、近所同士、お互いに積極的にあいさつをしましょう。
また、コミュニケーションを図るのが苦手な子どもが増えています。様々な人と関わることが良い経験になります。家族で地域の行事に参加しましょう。葛尾幼稚園、小・中学校の行事に参加して、子どもたちとも触れ合しましょう。

あいさつの輪を広げましょう



葛尾中HPから

葛尾中学校で行われた中体連の壮行会には、小学生も参加して、みんなが一つになって出場する選手を激励します。子どもたちも先生方も、みんな一つです。＼(^o^)/



5月に行われた「祝言式」



ふれ愛



「言葉は生きている」ことを十分に噛みしめて



ツールドかつらお

「出会い」は「出愛」。
一人一人との出会いを大切に

出愛



村民運動会から



寿学級・女性学級合同の「若冲展」研修



学び愛



4月から新たに始まった剣道教室

子どもたちと
ともに笑い
ともに夢を
語り合いましょ

人は、夢を育て
夢は、人を育てる

夢を持って生きる大人の姿が
子どもたちにも、勇気と自信を
誇りと夢を、

育てていくのです

ともに

夢を語り合いましょ



民謡教室で

「ふれあい」は、子どもたちに勇気と思いやり、耐性を育む

メディアとの関わり方は

大人がお手本を示しましょう

お子さんは、テレビやゲームに長時間、夢中になっていませんか。このことによる健康や生活への悪影響について話し合いを持ちましょう。

「だって、お父さんやお母さんだってスマホを…（子ども談）」
携帯電話やスマートフォンの使いすぎは、まず大人が気をつけましょう。

手伝い、外遊びを 経験させましょう

子どもの生活経験や屋外での活動が、震災前と比べて少なくなっています。家庭での手伝いや外遊びなどの機会を増やしてあげましょう。

また、自動車での送迎など、運動や体を動かす機会も少なく、肥満も問題になっています。大人がお手本となって、子どもと一緒に体を動かすことを増やしましょう。



私が出会った4つの愛



同級生の優しき

鱒尾中学校 三年 島拔 美月さん



私は、腰を悪くしてしまつて、陸上大会や中体連、運動会にも参加できませんでした。腰の痛みがひどい時は、しゃがめないほどの痛みでした。その時、いつも助けてくれたのは同級生でした。荷物を取ってくれたり、床に落としてしまった物を拾ってくれたり、とても親切にしてくれました。より同級生の優しきを知ることができたし、どんな時でも助けてくれる同級生に出会えてよかったです。そんな同級生のいる鱒尾が、私は大好きです。

鱒尾村との出会い

鱒尾中学校 三年 伊藤 律貴さん

僕は、一年生の九月に、郡山の中学校から鱒尾中学校に転校してきました。前の学校は、五百人以上もいて、全校生が十四人しかない鱒尾中学校に驚きました。そして僕は、鱒尾中にきて、とても積極的になりました。卓球部長や生徒会副会長を務め、みんなの前に立って活動しています。

僕が変わったのは、シアトル修学旅行を始め、ここ鱒尾村で中学校のみんなや村の人、いろいろな人と出会ったからだと思います。

ありがとうございます、鱒尾村！



* 2枚の写真は、葛尾中学校HPのものを使わせてもらいました

かつらお「4つの愛」推進プロジェクトの思い

「令和」へと元号が変わって2か月。「平成」には「平和を成す（作り上げる）」という思いが込められていました。そして、「令和」には「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められているそうです。

さて、今年度も、葛尾村教育委員会では「出愛」「ふれ愛」「助け愛」「学び愛」をテーマにした事業等を展開してまいります。昨年からはじめた「ふれ愛給食試食会」を始め、新たに「カルチャースクール」などの事業も企画し、出会いと学びの機会をつくってまいります。村民の皆様方には、ぜひ葛尾幼稚園や小・中学校の行事等へも参加していただき、幼稚園・小中学校を応援していただきたいと思います。

今回のパンフレットには、地域家庭教育推進相双ブロック会議発行の「子どもの未来を育む3つの提言」を参考にさせていただきました。

葛尾村教育委員会教育長 小野田 敏之